（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスライフイズビューティフル

公表日　2026年5月18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			限られたスペースで都度、考えて対応していただいている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		法人内で適職者が出た為、厳しい状況がありましたが改善しつつある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	壁の素材がコンクリート打ちっぱなしで、音の反響がみられる。室内が大声等で音の反響が大きくなる際は、環境上の配慮が必要と思われる（現場的な距離感の設置で、音が緩和される）	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		児童の必要な状況に合わせ、環境を整えている。	活動スペース、個別活動室、相談室を活用している
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室や屋外のスペースも確保されている。	その都度、対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	自身の把握の強化をしたい。	業務改善について話し合い進めていますが上手く進まない状況を議論を進めます。
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		自身の把握を強化したい。	5月の全体会議で共有、改善を行い、次年度に反映します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		全スタッフが意見して実行できるように何度も話合いを重ねています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		第三者委員会にて報告し、助言を頂いています。
	10	職員の資質の向上を図るため、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	6			屋外から講師をお呼びしたり、スキルアップの研修会を開催しています。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	6		より支援プログラムがわかりやすく把握できる工夫ができたら良い	全スタッフで再度、プログラムのかくにんを行なう。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			アセスメントの様式を検討の必要性がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			支援が必要なご家族を第一に考えて進めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			ケース会議にて共有しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含めインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		自身でもより把握できる状況を作りたい。	現在、沖縄県が推奨している新サポートノートというモノを活用していますが再度、見直しが必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容や具体例を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのとて、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		それぞれの内容を把握し、ご家族に確認しながらできるだけ具体的な内容を記載しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	実施する際には情報共有を全スタッフにて行い実施しているが、活動の検討を特定の支援員にて立案している。	サービス管理責任者と担当者で行なっています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		室内活動と外ので活動の担当を配置して様々なプログラムの準備を行なっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成した、支援が行われているか。	5	1	自身の把握を強化したい。	個別活動、集団活動を平日と休日で分けて支援を行なっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		9時、１３時の申し送りで利用者様の様子や役割を確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	一連放前や支援前に確認を行う時間を作っている。 支援の振り返りが翌日以降に行うことがある	内容によっては当日、または翌日の朝に振り返り、共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	一定記録が取っていない。 申送に反映した（記録は行ってえるものの、支援の検証、改善に活用する場面が少なく感じる。今後、支援に反映させていけたらと思います。	それぞれの業務改善が必要、支援の検証は都度、行なっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			保護者様、管理者、担当、計画相談員等が参加して行こなっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を適切組み合わせて支援を行っているか。	6		自身の把握を今後強化したい。	できる だけ反映できるように行います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		利用児童の意見を聞いたりする時間を作っている。	活動の場面でご本人さんに参加する、参加しないの選択肢を提示、自己決定を育てています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	自身の把握を今後強化したい。	保護者様、管理者、担当、計画相談員等が参加して行こなっています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			福祉課、学校などの連携は取れています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に先生との共有、引き継ぎを行っている。	小学校の校長、教頭先生やSSWと連携を密に取っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	業務で携える機会が少ないので、関わる機会があれば積極的に取り組めるようにしたい	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	業務で携える機会が少ないので、関わる機会があれば積極的に取り組めるようにしたい	ご家族に許可を取り、必要に応じて提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2	一自身がまだ把握できていない。 ご把握できるよう自身を強化したい	うるま市のセンターから助言を頂いている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			地域の児童館と定期的に交流しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			申し送りやモニタリング会議で共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			保護者研修会や相談、情報提供を行なっています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約前に説明を行なっています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			申し送りやモニタリング会議で共有しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を元にながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6			モニタリング会議で共有しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			ご家族からのあらゆる相談を受け、適切に対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	きょうだい同士で交流する機会が少ないと感じられる。「きょうだい児」を支援する機会（勉強等）がほしい。	運動会やフリマを開催し、交流する機会を持っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			ご家族からの意見などを全スタッフで共有し、できる だけ早く対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		送迎時に、保護者へ行事予定等を確認するように努めている。	HP,Instagram、ハグタスクを活用して発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			サーバーやパードの持ち込み禁止、鍵付きの書庫にて管理を行なっている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			あらゆるツールを使い、個別で対応し、意思疎通が取れるように工夫している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			老人会の盆踊やイベント等で地域と関わる運営を行っています。
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			各、マニュアルを確認しながら想定外を予測しながら実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		配列作成に携わっていないが、定期的に地震・津波訓練等へ取り組んでいる	日常の情報をその都度、共有して意識しながら支援を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			対象となる場合は保護者と連携を取り進めていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			対象となる場合は保護者と連携を取り進めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			避難訓練等の様子はSNSの申し送りで室内、周知しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		自身の把握を今後強化したい。	訓練や予測を立てて訓練を行なっています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			職場や事業所内、外を含めて予測、対策を講じている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			屋外から講師をお呼びして他の事業所と合同で研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			必要な場合にはご家族に確認し、記載しています。